



かさまつの子

笠松町道德教育連絡会議



生きる力を育む職場体験学習

笠松中学校は二年生時に、二日間の職場体験学習を行っています。

この体験学習は、「働くことの喜びや大変さを実感すると共に、将来の進路選択に向けて視野を広げる」ことをねらいとしています。

毎年、町内の事業所や施設のかたがたのご好意で、生徒たちに勤労体験の場を与えていただいています。

昨年度は、百八十数人の生徒たちが教育、福祉、製造、販売、施工、縫製リネンなど三十五の事業所および施設にお世話になりました。

当日は事業所のかたがたから、仕事の内容や手順、あいさつの

仕方やお客様との対応の仕方、マナーなどを教えていただきました。

初めは緊張して、動きもぎこちなかった生徒たちも、職場のかたがたの温かいご指導で、少しずつ仕事にも慣れることができました。

後日、お世話になった職場のかたがたへ中学生からお礼の手紙を出しました。

『仕事をしてみえるかたのスピードについていくのがやっとでした。シート・布団を機械に入れる仕事では、よく縦・横を間違えてセツトするという失敗をしました。そんな時には職場のかたに、「頑張れ」と声をかけていただいたり、丁寧に教えて

いただいたりしました。お陰でその日の午後は間違えずにできるようになりました。私は仕事を

する大変さと、職場の皆さんの仕事に対する責任というものを実感しました。』(リネン関係の勤労体験から)

『給食のお手伝いをさせていただきました。私は、いつも一人でつく

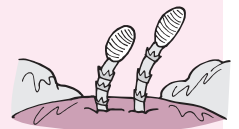
つていたのですか。』と質問すると、「君たちのお母さんのようにずっとこの仕事を続けているよ。毎日、楽しいよ。」と教えてくださいました。私は栄養士さんのお話を聞いて、自分が一生懸命つくった給食を食べて子どもたちが身も心も大きく成長してくれたりうれしいだろうなと思いました。』(保育関係の勤労体験から)



生徒たちにとって、この職場体験学習は、働くことの喜びを味わうと共に、人としての生き方をみつめる貴重な時間になりました。

今年度も笠松中学校では地元のかたがたのご協力を頂き、職場体験学習を実施する予定です。これからも未来ある生徒たちのためにご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

笠松中学校
二年生主任 西尾知紀



教育委員会だより

教育電話相談

「悩んだら気楽に
電話してください」
郡四町教育委員会
☎ 245・1133

何もかもが、新しいスタート。何となくそんな気持ちにさせる四月です。わくわくするもの、それだけでは、しばらくすれば以前と同じ生活になってしまいます。こんなことばを教えていただきまし。

心が変われば 行動が変わる
行動が変われば 習慣が変わる
習慣が変われば 人格が変わる
人格が変われば 運命が変わる
(現在、ヤンキースの松井選手が卒業した星陵高校のベンチに書いてあることばです。)

自らの「心」を変えることで人は運命を変えることができる。運命は、自分で切り開くことができるのだと教えてくれていると思うのです。さて、そこで考えたいことは、「どうやって心は動き出し、変わりはじめることができるか」ということです。

年度始めのように、季節や時期や環境が変わることも大きな要因になるでしょう。しかし、それは年度が変わることと、「自分の夢や願い」に向けての新たな一歩が踏み出せ

るからではないでしょうか。「夢や願い」は一番の原動力なのです。

動き出した心が停滞しないで、行動化・習慣化にまで行き着くには、家庭や学校・地域で見守られ安心できる環境があることや行動すること

で成長やそのよさを実感することだと思えます。

家庭や学校・地域でいろいろな人とぶれ合い、あてにされ、頑張りが認められ、問題を解決していく中で子どもたちは「人格」を作り上げ、自分の運命を切り開いていく力を身に付けていくのでしよう。

羽島郡四町教育委員会は、「町民憲章」の具現に向けて、生涯にわたって学び続け、活力と連帯感のあるまちづくりを願っています。その基盤は、人づくりです。さあ、四月、子どもの心が動き出します。

「心が変われば...」